

受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「日本新興市場成長株オープン」は、このたび、第8期の決算を行いました。

当ファンドは、日本新興市場成長株マザーファンドの受益証券への投資を通じて、わが国の金融商品取引所上場株式（上場予定の株式を含みます。）に投資し、投資信託財産の成長を図ることを目標に積極的な運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第8期末(2015年4月13日)

基準価額	11,214円
純資産総額	583百万円
第8期	
騰落率	39.4%
分配金(税込み)合計	1,100円

(注)騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注)純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、岡三アセットマネジメントのホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

ホームページの「ファンド一覧」等から当ファンドのファンド名称を選択することにより、「ファンド詳細」ページにおいて運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。

日本新興市場成長株オープン

追加型投信／国内／株式

作成対象期間：2014年4月15日～2015年4月13日

交付運用報告書

第8期(決算日 2015年4月13日)

 **岡三アセットマネジメント**

〒104-0028 東京都中央区八重洲2-8-1

お問い合わせは弊社カスタマーサービス部へ
フリーダイヤル ☎0120-048-214 (営業日の9:00～17:00)

[ホームページ]

<http://www.okasan-am.jp>

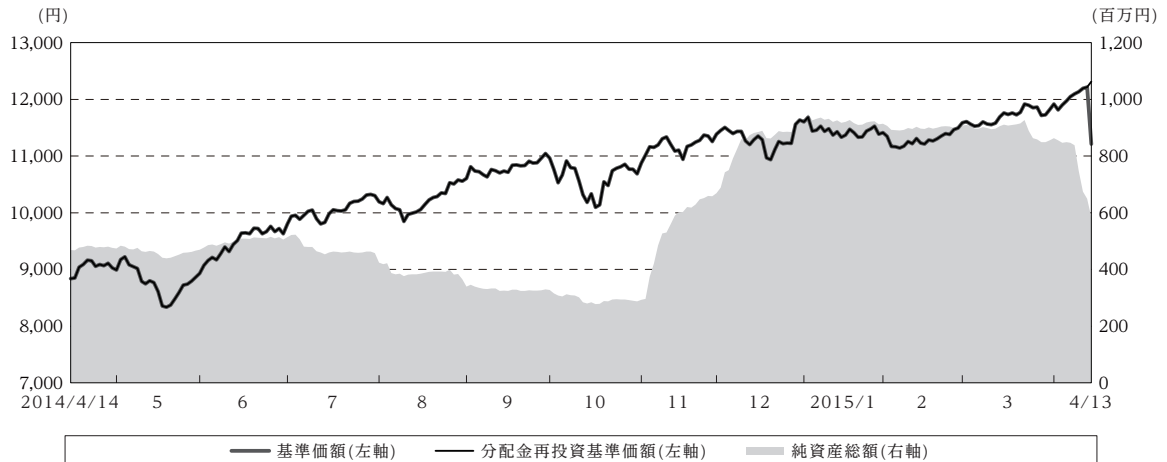
※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。
※機種により本サービスをご利用いただけない場合があります。



運用経過

期中の基準価額等の推移

(2014年4月15日~2015年4月13日)



期 首： 8,836円

期 末： 11,214円 (既払分配金(税込み)：1,100円)

騰落率： 39.4% (分配金再投資ベース)

(注)分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注)分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注)分配金再投資基準価額は、期首(2014年4月14日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注)上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

(主なプラス要因)

主要投資対象である「日本新興市場成長株マザーファンド(以下マザーファンド)」における主なプラス要因は以下の通りです。

- ・業種配分では、証券、商品先物取引業、サービス業、化学などが基準価額にプラスに寄与しました。
- ・個別銘柄ではFPG、ファインデックス、ファーマフーズなどが基準価額にプラスに寄与しました。

(主なマイナス要因)

主要投資対象であるマザーファンドにおける主なマイナス要因は以下の通りです。

- ・業種配分では、医薬品、非鉄金属、繊維製品などが基準価額にマイナスに寄与しました。
- ・個別銘柄ではリアルワールド、アイ・アールジャパン、じげんなどが基準価額にマイナスに寄与しました。

(2014年4月15日~2015年4月13日)

1万口当たりの費用明細

項 目	当期		項目の概要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	182	1.702	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社)	(92)	(0.860)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(81)	(0.755)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(9)	(0.086)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	66	0.620	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(株式)	(66)	(0.620)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) その他費用	1	0.011	(c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監査費用)	(1)	(0.011)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	249	2.333	
期中の平均基準価額は、10,688円です。			

(注)期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注)各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注)売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注)各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(2010年4月12日~2015年4月13日)

最近5年間の基準価額等の推移



(注)分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注)分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注)分配金再投資基準価額は、2010年4月12日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2010年4月12日 期初	2011年4月12日 決算日	2012年4月12日 決算日	2013年4月12日 決算日	2014年4月14日 決算日	2015年4月13日 決算日
基準価額 (円)	5,433	5,315	5,385	7,817	8,836	11,214
期間分配金合計 (税込み) (円)	-	0	0	0	0	1,100
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	-	△2.2	1.3	45.2	13.0	39.4
日経ジャスダック平均騰落率 (%)	-	△7.5	12.8	33.3	7.1	30.4
東証マザーズ指数騰落率 (%)	-	△10.9	△10.8	69.8	7.7	31.3
純資産総額 (百万円)	650	415	305	510	467	583

(注)上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注)純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注)騰落率は1年前の決算当日との比較です。

(注)日経ジャスダック平均、東証マザーズ指数は当ファンドの参考指数です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する指数として記載しているものです。

(2014年4月15日~2015年4月13日)

投資環境

国内株式市場は、消費税率引き上げ後の国内景気への懸念などから2014年5月中旬にかけて軟調に推移しましたが、その後は、円安の進行により企業業績への好影響が見込まれたことなどから、堅調な展開となりました。世界景気見通しの下方修正などを受けて10月中旬にかけ一時的に下落する場面もありましたが、10月末に日銀が決定した追加金融緩和策が市場の予想を上回る内容であったことから、株式市場は上値を追う展開となりました。2015年1月以降は、国内企業の2014年度第3四半期決算発表を受け企業業績の順調な拡大が確認されたことなどから、上昇基調となりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2014年4月15日~2015年4月13日)

当ファンドの運用はマザーファンドを通じて行いました。

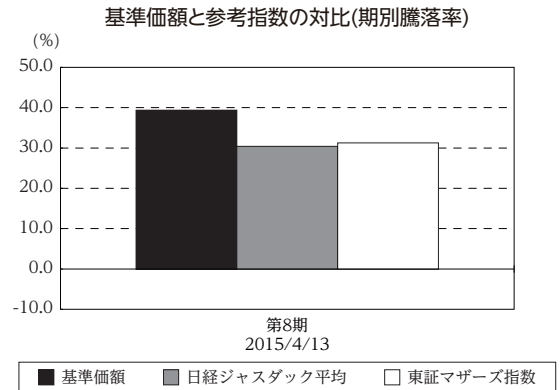
マザーファンドの運用につきましては、高速データ処理向けソフトウェア開発で高い技術力を有するフィックスターズや、寿司業態を中心に宅配ビジネスの事業領域拡大を進めているライドオン・エクスプレス、国内マンション向けセキュリティカメラや北米でのペーパークラフト用カッティングマシンの販売好調により、中長期的な業績拡大を期待して、あいホールディングスなどを新規に組み入れました。一方、好業績を受け短期間に株価が上昇したエスアールジータカミヤや主力農薬の国内や南米での売上鈍化が懸念される日本農薬などを売却しました。

(2014年4月15日~2015年4月13日)

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

右記のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金(税込み)込みです。

(注) 参考指数は、日経ジャスダック平均、東証マザーズ指数です。

(2014年4月15日~2015年4月13日)

分配金

当ファンドは、毎年4月12日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行います。収益分配は、基準価額が当初元本（1口あたり1円。以下、同じ。）を超えている場合は、当初元本を超える額の50%程度を目途に分配金額を決定します。基準価額が当初元本を下回っている場合は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案のうえ分配金額を決定します。

当期の分配金につきましては、基準価額が当初元本を超える額の50%程度を目途に1,100円（税込み）とさせていただきます。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第8期
	2014年4月15日~2015年4月13日
当期分配金	1,100
（対基準価額比率）	8.933%
当期の収益	1,065
当期の収益以外	34
翌期繰越分配対象額	1,214

(注)対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注)当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

国内株式市場は、上昇トレンドにあると考えております。日銀による緩和的な金融政策や政府の経済対策により国内景気の回復が期待されるほか、円安などを背景に企業業績の改善が続くと見込まれることが株式市場をサポートすると考えております。また、日銀によるETFの買入れや年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）の国内株式への投資比率拡大計画などが、需給面で株式市場を支えることが期待されます。また、銘柄物色の裾野拡大も予想され、これまで主力大型株と比較して出遅れていた新興市場株や中小型株の見直し買いが進むと考えられます。

当ファンドの運用はマザーファンドを通じて行います。マザーファンドの運用につきましては、ジャスダック、東証マザーズ等の新興市場上場銘柄を中心に、独自の技術・サービスや、新しいビジネスモデルの構築により中長期的な事業拡大が期待される銘柄や、ニッチな市場で高いシェアを獲得することで高収益が期待される銘柄などを組み入れていく方針です。

お知らせ

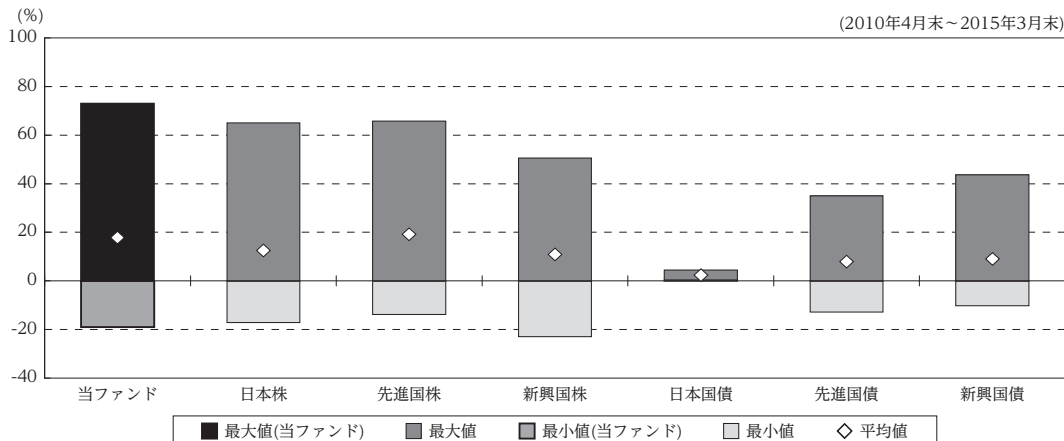
- ・法令諸規則の改正に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。（実施日：2014年12月1日）
- ・弊社は、資産運用・リスク管理態勢の高度化等への取り組みを一段と強化すべく、2015年4月1日付で運用部門に関し以下の組織変更を行いました。
 - ①運用企画部の新設
 - ②投資調査部を投資情報部に改称
 - ③運用各部を投資対象資産別に再編
 - ④トレーディング部を運用本部から分離

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／国内／株式	
信託期間	2007年4月13日から2017年4月12日までです。	
運用方針	「日本新興市場成長株マザーファンド」の受益証券を通じて、わが国の金融商品取引所上場株式（上場予定の株式を含みます。）に投資し、投資信託財産の成長を図ることを目標に積極的な運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	「日本新興市場成長株マザーファンド」の受益証券を主要投資対象とします。
	日本新興市場成長株マザーファンド	主として、わが国の金融商品取引所上場株式（上場予定の株式を含みます。）に投資します。
運用方法	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とするファミリーファンド方式で運用を行います。
	日本新興市場成長株マザーファンド	運用にあたっては、ジャスダック、東証マザーズ等の新興市場上場株式中心に投資を行います。 なお、新興市場以外の株式を組入れる場合は、取得時の株式時価総額が2,000億円以下の銘柄とします。 ボトムアップ・アプローチにより、利益成長が期待できる銘柄を選定します。
分配方針	<p>毎年4月12日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。</p> <p>分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。繰越分を含めた経費控除後の配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。</p> <p>収益分配は、基準価額が当初元本（1口当たり1円。以下、同じ。）を超えている場合は、当初元本を超える額の50％程度を目処に分配金額を決定します。ただし、分配可能額が少額の場合は、収益分配を行わないことがあります。基準価額が当初元本を下回っている場合は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勧告のうえ分配金額を決定します。</p>	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	72.9	65.0	65.7	50.5	4.5	34.9	43.7
最小値	△18.8	△17.0	△13.6	△22.8	0.4	△12.7	△10.1
平均値	17.9	12.5	19.2	10.9	2.4	8.0	9.0

(注)全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注)2010年4月から2015年3月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注)上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注)当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：シティ世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注)海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2015年4月13日現在)

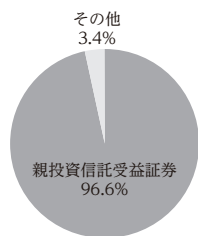
○組入上位ファンド

銘柄名	第8期末
	%
日本新興市場成長株マザーファンド	96.6
組入銘柄数	1銘柄

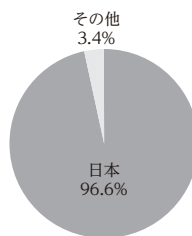
(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注)組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

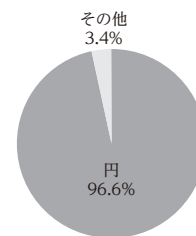
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注)国別配分につきましては発行国を表示しております。

純資産等

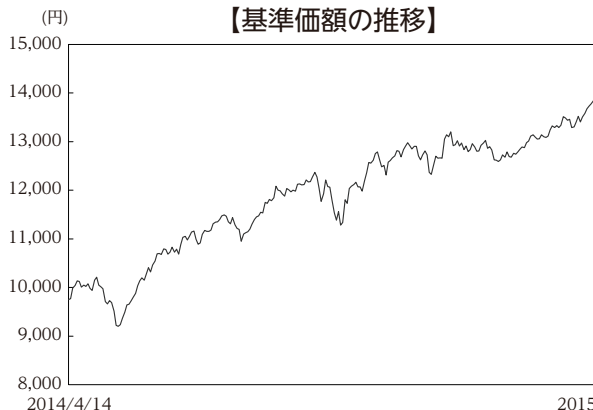
項	目	第8期末
		2015年4月13日
純資産総額		583,595,966円
受益権総口数		520,399,834口
1万口当たり基準価額		11,214円

* 期中における追加設定元本額は624,777,533円、同解約元本額は633,924,027円です。

組入上位ファンドの概要

日本新興市場成長株マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2014年4月15日~2015年4月13日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	76 (76)	0.636 (0.636)
合 計	76	0.636
期中の平均基準価額は、11,986円です。		

(注) 上記項目の概要につきましては、2 ページをご参照ください。

(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2015年4月13日現在)

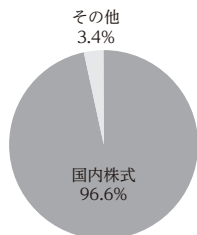
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
					%
1	フィックスターズ	情報・通信業	円	日本	2.5
2	ライドオン・エクスプレス	サービス業	円	日本	2.3
3	ファインデックス	情報・通信業	円	日本	2.3
4	あい ホールディングス	卸売業	円	日本	2.2
5	サマンサタバサジャパンリミテッド	その他製品	円	日本	2.2
6	サン電子	電気機器	円	日本	2.2
7	ディー・エル・イー	情報・通信業	円	日本	2.1
8	山一電機	電気機器	円	日本	2.1
9	じげん	情報・通信業	円	日本	2.0
10	F P G	証券、商品先物取引業	円	日本	2.0
組入銘柄数		68銘柄			

(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

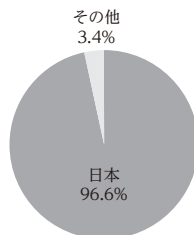
(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国を表示しております。

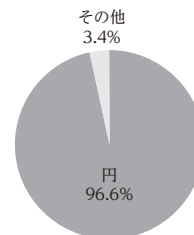
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注)国別配分につきましては発行国を表示しております。

当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は、運用報告書（全体版）をご覧ください。

〈代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について〉

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

○MSCI – KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI – KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA – BPI国債

NOMURA – BPI国債は、野村証券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA – BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村証券株式会社に帰属します。

○シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は、Citigroup Index LLCが開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、シティ世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、Citigroup Index LLC に帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。